

2016年度（2017年3月期） 第3四半期 決算補足説明資料

2017年2月2日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

連結損益比較表 (サマリー)

	2016年度3Q末	2015年度末	
連結子会社	94社	93社	+1社
持分法適用関連会社	11社	10社	+1社
計	105社	103社	+2社

増加：2社

減少：1社

増加：1社

(単位：百万円)

	2016年度 3Q累計	2015年度 3Q累計	比較増減	増減率	備考
営業収益	537,685	526,483	+11,202	+2.1%	
営業利益	82,141	79,931	+2,210	+2.8%	次ページ参照
営業外収益	9,756	8,400	+1,355		
営業外費用	10,481	10,692	△210		
経常利益	81,416	77,640	+3,776	+4.9%	
特別利益	2,201	11,460	△9,258		工事負担金等受入額 △10,011
特別損失	1,104	13,949	△12,844		固定資産圧縮損 △10,050
親会社株主に帰属する 四半期純利益	57,382	49,209	+8,173	+16.6%	

(注) 当期より国際輸送事業の輸出混載貨物等に係る取引について、営業収益の計上方法を純額表示から総額表示に変更しています。
この変更に伴い、前年同期の営業収益については、遡及適用後の金額（総額表示）となっています。なお、この変更による利益への影響はありません。

(参考)

減価償却費	39,115	39,656	△541
金融収支 (A) - (B)	△7,575	△8,467	+891
受取利息及び配当金 (A)	981	1,022	△41
支払利息 (B)	8,557	9,490	△933

セグメント別営業成績（サマリー）

【当期業績のポイント】

不動産事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったことや賃貸事業が堅調に推移したことに加えて、インタテインメント・コミュニケーション事業が増収・増益となったこと等により、営業収益、営業利益とも増加

（単位：百万円）

	都市交通	不動産	インタテインメント・ コミュニケーション	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益									
2016年度3Q累計	178,444	146,498	86,055	22,989	52,699	49,766	28,352	△27,120	537,685
2015年度3Q累計	179,911	132,331	83,056	24,091	57,870	51,818	23,621	△26,219	526,483
比較増減	△1,467	+14,166	+2,998	△1,102	△5,170	△2,052	+4,730	△900	+11,202
営業利益									
2016年度3Q累計	34,759	29,375	14,904	770	1,042	2,485	807	△2,003	82,141
2015年度3Q累計	34,548	26,735	14,039	1,320	1,240	3,754	131	△1,838	79,931
比較増減	+210	+2,639	+864	△549	△198	△1,269	+676	△164	+2,210

（注）当期より国際輸送事業の輸出混載貨物等に係る取引について、営業収益の計上方法を純額表示から総額表示に変更しています。

この変更に伴い、前年同期の営業収益については、遡及適用後の金額（総額表示）となっています。なお、この変更による営業利益への影響はありません。

都市交通セグメント

中食事業を展開している(株)いいなダイニングが連結子会社から持分法適用関連会社となったこと等により減収となったものの、鉄道事業において動力費が減少したこと等により増益

(株)いいなダイニング
持分法適用関連会社化の影響
営業収益 約△20億円

(単位：百万円)

	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	178,444	179,911	△1,467	△0.8%
営業利益	34,759	34,548	+210	+0.6%

不動産セグメント

マンション分譲戸数[※]が前年同期を上回った（+48戸：前年同期550戸→当期598戸）ことや、梅田地区の賃貸ビルが堅調に推移したこと等により、増収・増益

※当社グループの持分戸数

(単位：百万円)

	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	146,498	132,331	+14,166	+10.7%
営業利益	29,375	26,735	+2,639	+9.9%

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収入				人員			
	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	47,207	47,396	△188	△0.4	239,623	240,423	△800	△0.3
定期	24,741	24,430	+310	+1.3	252,439	249,164	+3,275	+1.3
うち通勤	21,144	20,848	+295	+1.4	172,985	170,338	+2,646	+1.6
うち通学	3,597	3,581	+15	+0.4	79,454	78,825	+628	+0.8
合計	71,948	71,826	+122	+0.2	492,062	489,587	+2,474	+0.5

《阪神電気鉄道》

	収入				人員			
	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	15,990	15,959	+30	+0.2	88,358	88,041	+316	+0.4
定期	8,737	8,586	+151	+1.8	91,076	89,505	+1,571	+1.8
うち通勤	7,783	7,654	+129	+1.7	71,096	70,028	+1,067	+1.5
うち通学	953	932	+21	+2.3	19,979	19,476	+503	+2.6
合計	24,728	24,546	+182	+0.7	179,434	177,546	+1,888	+1.1

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示しています。
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、PiTaPa区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいます。
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計です。

エンタテインメント・コミュニケーションセグメント

スポーツ事業において、阪神タイガースの公式戦の入場人員が増加したことや、インターネットスポーツ中継サイトへのライブ配信を開始したことに加えて、ステージ事業の各公演が好評を博したこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	86,055	83,056	+2,998	+3.6%
営業利益	14,904	14,039	+864	+6.2%

旅行セグメント

海外旅行において、国際情勢の悪化の影響を受け、特にヨーロッパ方面の集客が減少したほか、国内旅行において、お遍路の逆打ちが話題となった四国方面等の集客が好調に推移したものの、「平成28年熊本地震」の影響で九州方面の集客が減少したこと等により、減収・減益

(単位：百万円)

	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	22,989	24,091	△1,102	△4.6%
営業利益	770	1,320	△549	△41.6%

国際輸送セグメント

海外法人において、東アジア・アセアンは航空輸送、海上輸送とも堅調に推移したものの、米州・欧州は航空輸送が低調に推移し、また為替変動により円換算額が減少したことに加えて、日本法人においても、航空輸入が伸び悩んだこと等により、減収・減益

(単位：百万円)

	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	52,699	57,870	△5,170	△8.9%
営業利益	1,042	1,240	△198	△16.0%

(注) 当期より国際輸送事業の輸出混載貨物等に係る取引について、営業収益の計上方法を純額表示から総額表示に変更しています。

この変更に伴い、前年同期の営業収益については、遡及適用後の金額（総額表示）となっています。なお、この変更による営業利益への影響はありません。

ホテルセグメント

ホテル外でのレストラン等の運営を一部取り止めたことに加えて、宿泊部門や宴会部門の売上が前年同期を下回ったこと等により、減収・減益

(単位：百万円)

	2016年度3Q累計	2015年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	49,766	51,818	△2,052	△4.0%
営業利益	2,485	3,754	△1,269	△33.8%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2016年度3Q末	2015年度末	比較増減	備考																								
資産の部	流動資産	255,126	255,535	△408																								
	固定資産	2,051,907	2,026,644	+25,263	投資有価証券 +20,553 有形・無形固定資産 +5,557																							
	資産合計	2,307,034	2,282,180	+24,854																								
負債の部	流動負債	414,019	456,134	△42,114																								
	固定負債	1,103,083	1,101,807	+1,275																								
	負債合計	1,517,103	1,557,942	△40,839	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016年度3Q末</th> <th>2015年度末</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借入金</td> <td>767,769</td> <td>795,010</td> <td>△27,240</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>122,000</td> <td>112,000</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td>コア・リアル・エー・パ°</td> <td>25,000</td> <td>-</td> <td>+25,000</td> </tr> <tr> <td>リース債務</td> <td>9,039</td> <td>9,559</td> <td>△520</td> </tr> <tr> <td>連結有利子負債</td> <td>923,809</td> <td>916,570</td> <td>+7,239</td> </tr> </tbody> </table> <p>未払金 △28,586 長期繰延税金負債 △9,914 (うち会計方針の変更による影響 △15,281)</p>		2016年度3Q末	2015年度末	比較増減	借入金	767,769	795,010	△27,240	社債	122,000	112,000	+10,000	コア・リアル・エー・パ°	25,000	-	+25,000	リース債務	9,039	9,559	△520	連結有利子負債	923,809	916,570
	2016年度3Q末	2015年度末	比較増減																									
借入金	767,769	795,010	△27,240																									
社債	122,000	112,000	+10,000																									
コア・リアル・エー・パ°	25,000	-	+25,000																									
リース債務	9,039	9,559	△520																									
連結有利子負債	923,809	916,570	+7,239																									
純資産の部	株主資本	746,018	686,695	+59,323	親会社株主に帰属する四半期純利益 +57,382 会計方針の変更による影響 +15,281 支払配当 △8,803 自己株式 △5,193																							
	その他の包括利益累計額	26,802	20,639	+6,162	その他有価証券評価差額金 +6,238																							
	新株予約権	496	424	+72																								
	非支配株主持分	16,613	16,478	+134																								
	純資産合計	789,931	724,237	+65,693																								